

## 一関市立図書館振興計画前期サービス計画（具体的な施策）の内容及び主な実績（平成 28～令和元年度）

本計画による平成 28 年度から 32 年度までの前期 5 年間に於いて実施すべきとした施策と主な実績は次のとおりです。

### 1 読書環境の充実

#### (1) 乳幼児・児童・青少年へのサービスと学校図書館支援

##### ～子どもと本を結び、健やかな成長と自立を支える図書館

図書館は、子どもと本の出会いを支えるため、子どもと本をよく知る専門的職員を配置し、さまざまな機会を捉えて子どもの成長や興味、関心に沿った本を提供します。

また、子どもの健やかな成長と自立を支えるための居場所としての役割も担います。

さらに、読書普及員や担当教諭と連携し、必要な資料の提供や読書普及活動を行うことで、学校図書館を支援します。

#### [乳幼児へのサービス]

- 乳幼児期において重要な「心の発達」と「読書によることばの獲得」を保護者に働きかけます。
- 保健担当部署と連携し、乳幼児健診を活用して読み聞かせと絵本の配付を行います。
- 絵本を楽しめるようになる前からでも図書館に親しんでもらえるように、布絵本や良質なおもちゃを収集します。
- 年代やテーマに合わせた乳幼児や児童と親のためのブックリストを作成、配布し、よい本との出会いを支援します。また、ブックリストは定期的に見直しを行います。

#### ● 前期サービス計画の実績

- ・ 0～6 歳の人口が 88%に減少したこともあり、乳幼児向けおはなし会の参加人数は減少した。
- ・ 3.4 ヶ月健診時の利用者登録働きかけにより、0～6 歳の登録者割合は 16%→47.4%へ増加した。引き続き、機会を捉え保護者へ働きかけていく。

#### [児童へのサービス]

- 児童用資料は、長く読み継がれている評価の高い作品を中心に収集するとともに、複本（※19）の購入や利用頻度の高い資料の買い替えを行います。

※19 複本=同じ本を 2 冊以上所蔵すること。貸出の増大につれて、特に絵本などは 10 部以上になることもある。

- ことばを大切にする教育プロジェクト（一関市教育振興基本計画）を推進するため、関連する資料を収集するとともに企画展を開催します。
- 図書館や資料の利用方法を研究し、計画的に指導を行います。

● 前期サービス計画の実績

- ・長く読み継がれている児童資料を継続して収集した。
- ・7～12歳の1人あたり貸出冊数は20冊→17.8冊へ減少した。図書館へ来館しての個人貸出から、学校での団体貸出に利用傾向がシフトしたと考えられる。ただし、登録者割合は60.4%→62%へと増加した。おはなし会や年代別ブックリストの配付などの読書推進事業の効果が表れたと考えられる。

[青少年へのサービス]

- 十代の感性を考慮した資料や情報を提供します。特に音楽資料と映像資料、雑誌とインターネットによる情報の提供に努めます。
- 青少年が地域行事などに参加するためのきっかけづくりとして、参加型の行事を開催します。
- 高校生、市内の各種専門学校や短期大学などの学生の学習や進路選択と就職に役立つ資料、情報を提供します。
- 中高生などの職場体験を継続して受け入れます。

● 前期サービス計画の実績

- ・ヤングアダルト資料を継続して収集した。
- ・13～18歳の1人あたり貸出冊数は減少した。特に中学生では、図書館へ来館しての個人貸出から学校での団体貸出に利用傾向がシフトしたと考えられる。
- ・16～18歳の登録者割合は75.6%→90.4%へ増加した。一関図書館新館開館により若い世代の利用者が増えたと考えられる。

[学校図書館支援]

- 学校への移動図書館車での巡回、学級文庫への貸出、学校や図書館でのおはなし会やブックトーク（※20）などを行います。

※20 ブックトーク＝特定のテーマに関する一連の本をエピソードや主な登場人物、著作者の紹介、あらすじも含めて、批評や解説を加えながら一つの流れができるように順序よく紹介したもの。

- 学校図書館の求めに応じ、教科関連図書などの団体貸出を実施します。
- 資料を選ぶための情報を提供するとともに、担当教諭との連携を強化し情報や意見を交換します。
- 読書普及員と連携するとともに、図書館職員と担当教諭、読書普及員を対象とした合同研修会を開催します。

● 前期サービス計画の実績

- ・全校配置された読書普及員との協力体制により、学校へ教育関連図書等の貸出を継続して実施することができた。児童生徒の読書環境の充実を図る上で、学校への読書支援は今後より重要になると考えられる。

## (2) 成人へのサービス

### ～生きがいを見い出す図書館

図書館を活用し学び、新たな文化を創造し、社会へ発信する活動を支援します。

- 介護、医療、法律、育児など生活に身近な情報に関する資料を収集し、提供します。
- 仕事に役立つ資料と情報の収集に力を入れ、一関市の産業（地場産業）に関する資料や職業選択、キャリアアップのための資格取得に役立つ情報を提供します。
- 地域づくりに役立つ資料を収集、提供し、地域づくり、まちづくりを支援します。
- 市の施策などに役立つ資料を収集し、情報を提供します。
- 情報活用に関する講座の開催や情報提供などを通し、情報リテラシー（※21）の向上を支援します。

※21 情報リテラシー＝様々な種類の情報源の中から必要な情報にアクセスし、得た情報を正しく評価し、活用する能力。

#### ● 前期サービス計画の実績

- ・一関図書館新館開館、また各種資料の収集・提供、講座等の開催により、23～59歳のすべての年代において登録者割合が増加した。
- ・引き続き、資料による利用者の支援、情報発信を続けていくことが必要である。

## (3) 図書館利用が困難な方へのサービス

### ～個性やニーズに合わせたサービスを柔軟に展開する図書館

物理的な障害やコミュニケーションの障がいなどにより、図書館利用が困難な方へ、一人ひとりの個性やニーズに合わせたサービスを柔軟に展開し、資料を提供します。

- 高齢者が利用しやすい環境を整備し、親しみやすい視聴覚資料（音声資料、映像資料）を備え、高齢者向けの展示や講座を開催します。
- 拡大読書器、拡大レンズなどを整備します。
- 図書館や移動図書館車まで来ることができない高齢者が、定期的に図書館へ来館できるサービスについて関係機関と協議します。
- だれもが必要とする情報の提供を受けられ、その情報を判断する力を養うための支援を行います。
- 利用しやすい視聴覚機器や資料情報検索システムを導入するとともに、操作をサポートします。
- 点字資料（※22）、大活字本、録音図書、リライト資料（※23）などを提供します。
  - ※22 点字資料＝点字で書かれた図書。点字は視聴覚障がい者が手で触れて読むための文字。
  - ※23 リライト資料＝LLブックともいう（LLはスウェーデン語で「やさしく読める」の意の略語）。知的障がい者や発達障がい者のために、やさしくわかりやすい言葉で短く書き直した資料。
- 対面朗読や録音図書が利用できる環境を整備します。

- 車椅子でも図書館を安全に利用できる書架、家具の配置をし、資料に手が届きやすい配架を行います。
- 病気や障がいなど何らかの理由で図書館に来館できない方に対しては、宅配などにより資料を届けるサービスなどの実施に向けての検討を進めます。
- 図書館職員が福祉施設、高齢者施設、医療施設などに出向き、おはなし会や読書会を開催します。
- 外国語の図書や雑誌、新聞などを充実します。
- 外国人が日本語や日本文化を学ぶための資料を収集します。
- 市民の多文化理解や国際理解に役立つ資料を収集します。
- 常にフロアワーク（※24）に努め、気軽に声をかけやすい図書館の雰囲気づくりに努めます。

※24 フロアワーク＝カウンター以外のサービスフロアで行う利用案内、読書案内、レファレンスサービス、読み聞かせ、ブックトーク、その他の利用者サービスの総称。計画的に職員が館内を巡回し、利用者との接触機会を増やす効果がある。

- 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律への対応を進めます。

● 前期サービス計画の実績

- ・高齢者向け展示、講座の開催や大活字本等の資料の充実により、60歳以上の登録者割合は15.1%→20.6%、実数にして2,732人増加した。また、福祉施設等でのおはなし会の需要も継続している。今後の人口高齢化により、高齢者向けサービスの需要は益々高まると予想され、引き続きサービスを充実していくことが必要である。
- ・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」への対応について、職員研修などを継続することが必要である。

#### （４）全域サービス

##### ～地域を結び、だれでもどこでも使える図書館

移動図書館車、館外サービス、学校図書館との連携などにより、地域を網羅的に支援し、誰もがどこでも図書館資料を利用できるサービスを目指します。

- 広い地域をカバーするため、学校や市民センター、民間施設と連携し、配本所の設置や団体貸出、おはなし会の開催などを行います。
- 在宅でのサービス利用については、関係団体と連携し、実施について検討を進めます。
- 移動図書館車や公用車による館外サービスについて、効率的な運行を行います。

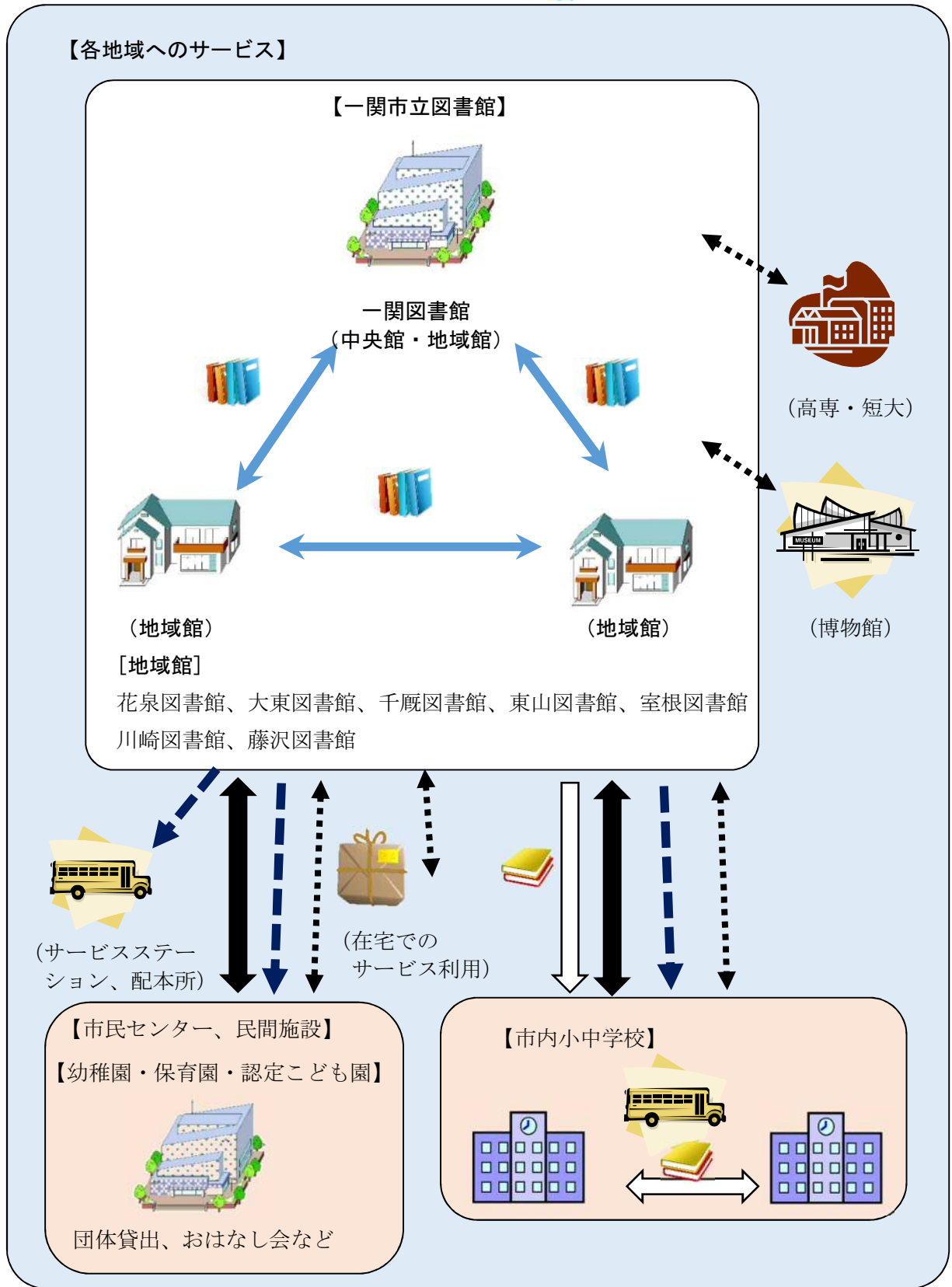
● 前期サービス計画の実績

- ・人口減少にも関わらず、学校や市民センターへの団体貸出数、移動図書館等による個人貸出数ともに高い需要が継続している。また、出前おはなし会の需要も継続している。
- ・高齢化・過疎化等により、図書館への来館が困難な方へ図書館サービスを届ける全域サービスへの需要は、今後も増加し続けると考えられる。

●全域サービス概念図



【各地域へのサービス】



## (5) 図書館資料の案内、貸出・予約

### ～情報を発信し、人と資料をつなげる図書館

全館の職員が連携し、その経験と専門的知識を生かすことで、市民への基本的サービスの充実に努めます。また、まだ図書館を利用したことのない市民には、図書館を知ってもらうために、情報発信を行い、図書館利用を促します。

- 図書館の有効活用のため、資料案内を積極的に行います。
- イベントや企画展、テーマ展示を実施し、より多くの資料を市民に紹介します。
- 市民に迅速に情報を提供するため、ホームページを充実させ、全館でSNSの活用を進めます。
- 図書目録の整備と改善に努め、OPACやホームページで公開し、利用者の利便性向上に努めます。

#### ● 前期サービス計画の実績

- ・市内全館で Facebook を開設し、情報発信体制を強化した。
- ・すべての世代に広く利用してもらうため、今後も魅力あるイベントや企画展を開催し、同時に広く情報発信することが必要である。

## (6) レファレンスサービス

### ～暮らしに役立つ身近な図書館

資料や情報を提供し、市民が抱えるさまざまな課題の解決や自己実現のための支援を行います。

- 一関市立図書館と他自治体の図書館、岩手県立図書館、国立国会図書館などを結ぶ相互協力ネットワークや関係機関との連携を強化し、資料や情報を提供します。
- 多種多様な情報源の中からよりの確な情報源に利用者を結びつけるため、職員の情報探索技術の向上に努めます。
- 各図書館のレファレンス事例を共有するため、データベース化します。
- レファレンスサービスについて、サービス内容を周知し利用を促進します。
- 専門的あるいは特殊な課題については、他の図書館や専門機関などを紹介するレフェラルサービス（※25）を行い、多角的な情報収集を支援します。

※25 レフェラルサービス＝利用者からの情報の要求に対して、その分野の適切な専門家や専門機関に照会して情報を入手し、提供するサービス。また、そうした専門家や専門機関を利用者に紹介するサービス。

- 利用者が自ら行う情報検索を容易にするため、パスファインダー（※26）やリンク集などを整備、公開します。

※26 パスファインダー＝特定の主題に関する資料や情報の探索法を一覧できるリーフレットのこと。図書館内の資料やサービスを対象として作成される。データベース形態で提供されるものもある。

● 前期サービス計画の実績

- ・相互協力ネットワークの活用により、市内図書館の蔵書に留まらない広い資料での課題解決支援を行ってきた。また、各分野のデータベースを導入し職員の情報探索技術の向上に努めてきた。
- ・利用者の暮らしに役立つ図書館を目指し、データベースのさらなる充実、職員の情報探索技術向上のための研修などを継続することが必要である。

## 2. 地域の特色を生かした運営

### (1) 施設

#### ～すべてのひとに分かりやすく使いやすい図書館

ユニバーサルデザインに配慮し、乳幼児から高齢者まですべての人が利用しやすい施設を整備します。

- 図書館の利用案内や施設サインを多言語化します。
- 分類や配架を工夫し、市民が利用しやすい資料の配置を行います。
- 一関図書館の資料保存機能を強化します。
- 図書館利用者用駐車スペースについて、確保に努めます。
- 経年による老朽化や施設が狭隘化している図書館への対応について検討します。

● 前期サービス計画の実績

- ・利用案内の多言語化や、館内環境の改善などを継続して実施してきた。
- ・今後はその他、施設の老朽化や狭隘化への対応について検討していく必要がある

### (2) 図書館管理システムと資料搬送

#### ～8館の資源（人、資料）を有効に利用できる図書館

図書館管理システムの定期的なバージョンアップの実施と資料搬送システムの円滑な運用を図るとともに、8館の資料と専門的職員が有する知識を市民に提供します。

- 図書館サービスの拡大や多様な運用状況に対応するため、図書館管理システムの定期的バージョンアップを進めます。
- 資料の貸出や予約を円滑に行うため、MARC（※27）と目録の整備、改善に努めます。

※27 MARC=MAchine-Readable Cataloging（機械可読目録）。図書館資料の書名、著者名、出版事項などの情報をコンピュータで処理可能な形に作成すること、または記録したもの。

- 市民へのサービス向上のため、図書館資料の搬送手段を工夫します。
- 学校図書館との一体的な配送システムの運用に取り組みます。

● 前期サービス計画の実績

- ・システムのバージョンアップ及びシステム更新について検討を継続し、同時にMARCの整備を進めてきた。今後はシステム更新が必要である。
- ・学校図書館ネットワークについて、学校教育課との連携及び読書普及員の市内小中学校全校配置により貸出点数が増加した。引き続きサービスを実施し、学校における児童生徒の読書環境の充実を支援していくことが必要である。

### (3) 情報通信環境

#### ～たくさんの新しい情報と出会い、活用できる図書館

日々、進歩する情報通信環境に対応し、だれもが等しく情報に出会い、活用することができるよう情報通信環境を整備します。

- インターネット環境については、より堅牢なセキュリティ対策を講じます。
- 利用者が自ら情報・資料を検索することを容易にするため、公衆無線LANの設置などを進めます。

#### ● 前期サービス計画の実績

- ・全館において公衆無線LANの設置を終え、だれもが利用できる情報通信環境を整備した。市民の利便性向上については図書館利用につながったと考えられる。

### (4) 市民との協働

#### ～だれもが参加し輝くことができる図書館

未来へ飛躍する人材を養成するため、人づくりを意識した事業やさまざまな技術習得のための講座等を実施します。

だれもが自信と誇りをもって、潤いのある生活をおくり、地域が支えあい、活力溢れるコミュニティの形成に役立つ図書館を目指します。

- 「人と資料・情報が出会う広場」「人と人が出会う広場」として市民に親しまれ、市民が参加、活動、交流でき、気軽に利用できる環境を整備し、活動の場を提供します。
- 知る、調べる、学ぶ、考える、くつろぐ、楽しむことができる集会行事活動を推進します。
- おはなし会、映画会、講演会、研修会、講座、コンサート、企画展など知的好奇心や探求心に働きかける魅力的な事業を開催します。
- 地域に密着したサービスを展開するため、一関市立図書館協議会や図書館運営協議会を開催し、積極的に市民の声を図書館運営に反映します。
- 専門的な知識や技能を有するサポーターを積極的に受け入れ、養成講座を開催するなど、活動を支援し育成します。

#### ● 前期サービス計画の実績

- ・市民の図書館サポーターとしての活動の場を継続して提供し、また養成講座を開催することで活動を支援し育成した。
- ・図書館協議会及び図書館運営協議会を開催し、市民の声の図書館運営への反映に努めた。
- ・館内おはなし会を始め様々な事業を継続して開催した。
- ・市民との協働を意識した事業の実施が引き続き必要である。



## (5) 図書館資料

### ～知の世界を広げ、学び続けることができる図書館

先人の知恵や歴史的事実、新しい発見や技術の進歩など、市民の知的欲求を満たし、生活に潤いを与え、自己実現に役立つ資料を収集し、情報拠点としての役割を担います。

また、市民の多様な資料要求に応えるため、資料を幅広く豊富に収集します。

- 一関市立図書館収集方針や一関市立図書館資料選定基準等をふまえ、全館及び各館で選書会議を開催し資料選定します。
- 一般、青少年、児童、外国語図書、参考図書などの基本図書（※28）を各分野にわたり幅広く収集します。

※28 基本図書＝図書館の目的を達成するために、蔵書の中核として構成された最小限の図書群。それぞれの部門でまず備えておくべき図書群であり、辞書などの参考図書を含めた図書館蔵書のベースとなるような図書。

- 社会的動向や市民のニーズに配慮し、新聞や雑誌など新鮮な情報を収集し提供します。
- 音楽、映画などの視聴覚資料（音声資料、映像資料）を収集し、提供します。
- 利用者の調査研究の利便性を図るため、オンラインデータベースを活用するとともに、電子書籍などの電磁的（デジタル）資料について調査を進めます。
- 一関市立図書館協議会や各図書館運営協議会から意見をいただき、資料の選定と収集に生かします。
- 市民の幅広いニーズに応えるため、全館で資料の分担収集、保存を行います。
- 適正な資料構成を維持し、合理的で効率的な利用を図るため、一関市立図書館資料除籍基準に基づき資料の除籍を進めます。
- 新聞、雑誌の保存場所と保存年数について調整します。

#### ● 前期サービス計画の実績

- ・市内8館において各種資料の収集を継続して行い、蔵書点数は956,807点となった（R1年度末時点、視聴覚資料含む）。また、岩手日報アーカイブなどの収集を継続して実施した。
- ・今後はこれまでの取組みに加え、利用者の利便性に配慮した電子図書館の実施などの新たな取組みが必要である。

## (6) 郷土資料（地域・行政資料）

### ～歴史と文化を継承し、郷土の魅力を発見できる図書館

地域の歴史や文化、政治、経済、産業などに関する資料を後世へ伝え、一関の文化や情報を広く発信するため、郷土資料を収集し保存します。

- 一関市立図書館資料収集方針及び一関市立図書館資料選定基準に基づき、各図書館の地域特性や運営内容の特色を生かした郷土資料を収集します。
- 一関の文化や情報を広く発信するため、もち文化（和食）や和紙、国際リニアコライダー（ILC）、世界遺産「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古

学的遺跡群一」拡張登録に関する資料を収集します。

- 本市が抱えている課題の把握に努め、課題の解決に役立つ行政資料、情報を収集します。
- 入手が難しい地域・行政資料については、各機関との連携強化を図りながら、出版情報の把握や寄贈の呼びかけにより収集を進めます。
- 郷土資料の整理、保存を確実にを行うためのデジタル化について検討を進めます。

● 前期サービス計画の実績

- ・市内8館において継続して郷土資料を収集した。また、郷土資料のMARCの整備を継続して行った。
- ・今後はこれまでの取組みに加え、郷土資料のデジタル化を進めていく必要がある。

## (7) 運営

### ～よりよいサービスを目指し成長する図書館

市民の高度で多様な課題を解決できるよう、常に新しい施策や先進事例などの情報を収集し、効果的な取り組みを運営に取り入れます。

また、専門的職員を配置し、知識、技術の向上のための研修を実施します。

- 市民センターや博物館などの関係施設と連携します。
- 市民ニーズの把握のため、定期的にアンケートや満足度調査を行います。
- 乳幼児健診や施設見学時などの機会を捉え、登録者の拡大に取り組みます。
- 市民活動団体との連携を図り、新規来館を促進します。
- 市民などから、資料の寄贈を受ける仕組みづくりを進めます。
- 図書館サービスの向上を図るため、雑誌スポンサー事業を推進します。
- 職員の資質向上、専門性を高める研修を実施し、市民に信頼されるサービスを提供します。組織的な研修体制を確立し、職場内外の研修を充実します。
- 高度で多様な市民の読書要求に応じて充実した図書館サービスを提供するため、専門的職員の充実を進めます。
- 中央館は、地域館を支援し、市立図書館全体の事務や調整を効率的に進めます。地域館は、市民の日常に密着したサービスを積極的に提供します。
- 効率的な図書館運営を進めるため、先進事例などの情報収集や調査研究を行います。
- 各図書館は、それぞれの地域で身近な図書館として、独自性を発揮した運営を行い、特色ある図書館経営を進めます。

● 前期サービス計画の実績

- ・様々な機会を捉えた働きかけにより、総利用登録者数が9,472人増加した。
- ・OJT研修や郷土の歴史について学ぶ研修、障がい者サービスについて学ぶ研修などを実施し、職員の資質及び専門性向上に努めた。
- ・市内8館において、様々な特色ある取組みを継続して実施し、新規登録者の獲得につながったと考えられる。引き続き地域の身近な図書館として、独自性を発揮した運営を行うことが必要である。